

第 23 回コーラルフェストかわさきに出演！【富士通川崎合唱団】

2月3日（日）、富士通川崎合唱団は、川崎市宮前市民館において開催された「第23回コーラルフェストかわさき」に出演しました。

このイベントは、地元である川崎市合唱連盟と川崎市文化協会主催の行事で、加盟団体のみが出場する合唱祭です。今回は約40団体が参加しました。お互いの演奏を聴き合い、あとで講師の先生から講評もいただけます。私たちも毎年出場を楽しみにしている、恒例のイベントです。

【演奏内容】

■曲目：

- 1) Cantate Domino（主に向かって歌え）
作曲：Vytautas Miškinis *1954
- 2) 花は咲く
作詩：岩井俊二 作曲：菅野よう子

■指揮：加藤雅子

【レポート】



いつもの練習場所、
ユニオンビル

なごやかに直前練習→



抜けるような青空、2月というのに、ぽかぽかしたうららかな日曜日。気持ちよくのびのびした気分、いつもの練習場所、武蔵小杉のユニオンビルに昼頃から集まり、発声と通しの練習をしました。

毎年この時期に出演している地元川崎市合唱連盟主催のイベント、「コーラルフェスト」。今年度より、当団団員が連盟の理事に就任して、理事団体となっています。運営側として、事前の準備や当日の切り盛りなどたいへんな役割を担ってもらっているメンバーに改めて感謝です。また、このイベントとして今回初の試みで、テレビ神奈川への資料提供のために演奏の録画をするということもあり、いつもとは違いちょっとこそばゆい緊張感も…。

演奏曲目は、1曲目が昨年出場した全日本合唱コンクールの自由曲より「Cantate Domino（主に向かって歌え）」です。大変軽快で、喜びに満ちた輝かしい歌です。昨年春から11月のコンクール全国大会まで練習を積み重ねてきた曲を地元で披露する場となります。客席のみなさんに、さすがと思われるような演奏をお届けすることはできるでしょうか？



会場の宮前市民館



イメージ新の
プログラム

2曲目は、この曲はNHKの大震災復興支援ソングで、昨年末の紅白歌合戦では東北地方にゆかりのある著名人によってリレー形式で歌われたものです。混声四部合唱のアレンジはちょっと変わっていて難しいのですが、とてもよい曲です。楽譜を購入することにより売り上げの一部が義援金としてNHKを通じ被災地に届けられるということで、団員分の支援の気持ちも微量ながら現地に届けられることを祈っています。

会場である宮前市民館には、最寄りの駅から長い富士見坂を延々と上ってちょっと息を切らしながらたどりつきました。出演する約40団体が3ブロックに分かれており、私達は最後のCブロックでの演奏です。会場に到着して、まず更衣を行い、同ブロックの演奏を途中まで鑑賞した後、リハーサル、そして本番となります。

衣装は、男女とも上下黒を基調とし、緑の差し色をどこかに入れるというドレスコードです。それぞれが手持ちの衣装に、ネクタイ、シャツ、髪飾り、コサージュ、スカーフなど、工夫を凝らして「緑」を取り入れており、さすがにセンスのよい大人の合唱団だと再認識（自画自賛？）します。

本番直前になっても、何度も本番を一緒に迎えてきた仲間たちなので、お互いを信じ合い、そんなにぴりぴりしたムードにはなりません。でも、いざ、ライトのまぶしいステージへ出ると気持ちは高揚します。



このステージで演奏しました



大人の装いの一例

1曲目、アルトの出だしから元気よく、他パートとの掛け合いも順調に滑り出したので安心しました。前へ、斜め上へ、声を飛ばすように意識して明るいイメージの中で歌うことができ、コンクールの成果は発揮できました。2曲目は、練習期間は短いながらも、団員の演奏による美しいピアノ伴奏に乗せ、歌詞の内容に思いを馳せてたっぷりと気持ちを込めて演奏することができたと思います。



今回大活躍の
「お花ぬいぐるみ」

実は今回、「花は咲く」演奏前に指揮者の譜面台の上に団長が花のぬいぐるみを置いて来るという演出があり、本番一発勝負！ だったのですが、無事にこなすことができホッとしました。

ほかの団体のみなさんもそれぞれがんばって活動されている様子がうかがい知れ、川崎市合唱連盟の中で唯一の職場合唱団である我々としても、これからも前向きに活動していこうという意欲を新たにしました。今年度のステージはまだ数回ありますが、どれも心を込めて精一杯努めたいと思います。



演奏おつかれさまでした！

【記事・写真提供：富士通川崎合唱団（アルト）駒澤由佳】